

クエンティン・タランティーノ presents 『ヘルライド』公開記念&銀座シネパトス20周年(も勝手に)記念

燃やせ! 俺たちの70's ジューシー グレイブハウス魂!

破天荒! 反体制! あの頃の熱いハートを取り戻せ!

イカスぜ、アンちゃん!! キテルぜ、ネエちゃん!!

銀幕を突き抜け、銀河の彼方までトンでいく

天然ROCKなアウトローどもに、カンパイ・アゲイン!!

by 映画監督 石井聰互

LATE SHOW

2009.

1/16   2/22 

銀座 シネパトス

燃やせ! 俺たちの70's ジャパニーズ・ グライندハウス魂!

Ginza Cine Pathos

アメリカで、後のパルプの帝王となるタランティーノがはじめて脚本を書いた14歳の頃、まだ万博、高度成長期などむちゃくちゃな勢いがあった日本でも、タランティーノのグライندハウス魂をくすぐるようなブっとび映画が作られていた! 今宵、シネパトスが現代のグライندハウス【B級アクション&エロ専門劇場】となって、お届けします。ジャパニーズ・グライندハウス・シネマ特集!

1/16(金)~20(火)「狂い咲きサンダーロード」



80年公開 96分 (アグン)
監督:石井聰互 出演:山田辰夫 小島正資 南条弘二 小林稔侍

バイク!ロック!バイオレンス!日本インディーズ映画の最高峰に輝き、今なお多くのファンを生み続ける伝説的作品。暴走族「魔墓呂死」の特攻隊長・ジンは、「市民に愛される暴走族」を目指す同輩や自分たちを取り込もうとする政治結社に反抗を試みた末、遂には右手を切断されてしまう。しかし、どん底に堕ちてなお抗うことをやめない彼は、バトルスーツに身を包み、幻の街サンダーロードで最後の決戦に挑むのだった!

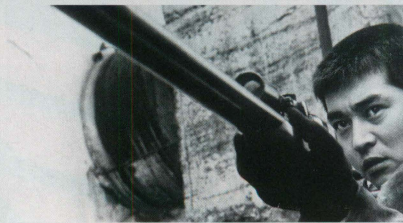
1/29(木)~2/1(日)「狂った野獣」



76年公開 78分 (東映)
監督:中島貞夫 出演:渡瀬恒彦 星野じゅん 川谷拓三

凶悪犯に乗り取られたバスに乗りあわした、乗客たちのパニック状況を描いたサスペンス映画。暴走するバス、運転を交替する乗客、緊張の中のクラッシュに次ぐクラッシュ!まさに「スピード」のプロトタイプ!とにかくアイデアが満載で、非の打ち所がない娯楽性をもっている。バスを追い掛ける白バイ警官、室田日出男や、ちんどん屋を演ずる志賀勝ら「ピラニア軍団」のおとぼけ演技も笑える。疾走感溢れる、70年代らしいノンストップサスペンスの秀作!

2/10(火)~13(金)「野獣を消せ」



69年公開 84分 (日活)
監督:長谷部安春 出演:渡哲也 藤竜也 川地民夫

米軍基地のある町で、妹を殺された復讐に立ち上がるハンターを描いた物語だが、渡哲也也のスケジュールの都合で、全体の半分は不良グループのリーダー・藤竜也が率いるチンピラたちの物語となり、主人公の向こうを張って強い印象を残す。尾藤イサオがシャウトする主題曲をはじめ、全篇に流れるジャズやファンクには同時代のアメリカ文化が濃厚に匂う。粋でシャープな雰囲気は、まさに長谷部安春ワールドが全開した作品。

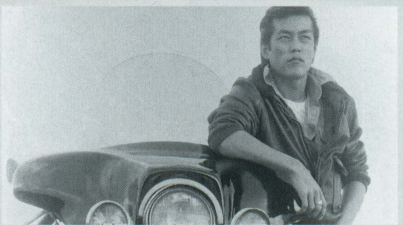
レイトショー: 連日 PM 8:30~ 1回上映

入場料金

一般:1200円 シニア:1000円
リピーター割引:1000円

※上映作品は製作されてから年月が経過しており、一部お見苦しい部分があると思いますが予めご了承下さい。

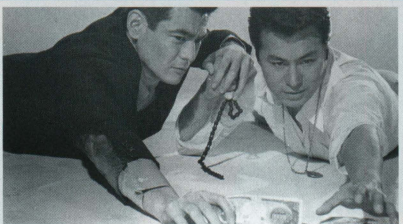
1/21(水)~24(土)「爆発!暴走遊戯」



76年公開 86分 (東映)
監督:石井輝男 出演:岩城滉一 貝ノ瀬一夫 星正人

下町の暴走族「ブラック・パンサー」と山の手の暴走族「レッドバロン」の抗争を描く。岩城滉一の暴走族もの第2作。両チームの対比が極端すぎて、親切すぎるほどわかりやすい。「ブラックパンサー」リーダー(岩城滉一)の妹(多岐川裕美)と、「レッドバロン」のメンバー(桑島正美)が恋に落ちるという設定も、「ウエスト・サイド物語」風の筋立てを踏襲した、というよりは、もはや暴走族版「ウエスト・サイド・ストーリー」といえる作品。

2/2(月)~5(木)「不良番長 一獲千金」



70年公開 88分 (東映)
監督:野田幸男 出演:梅宮辰夫 谷津人 山城新伍

東京、川崎を舞台にハレンチグループのカボネ団が、銭儲けのために、ヤクザ組織を敵に廻し、1億のどでかい仕事をやらさす…。女、エロス、暴力、オトボケ、ギャグ、社会風刺、友情、恋愛、青春モードまでゴッソリ煮詰めシリーズだが、7作目にしてついに大信田礼子が登場。さらに梅宮辰夫が歌う昭和歌謡グループ・満点の「ダイナマイท์・ロック」も初登場!ハチャメチャ度数が極めて高くなった、お楽しみ満載の1本。

2/14(土)~17(火)「番格ロック」



73年公開 83分 (東映)
監督:内藤誠 出演:山内えみ子 誠直也 鹿内孝

「不良番長」シリーズを手がけた内藤誠監督作品。スケ番グループ、赤羽百人会と池袋の「騎兵隊」、両者が対立する中、百人会の番格であった由紀子が女子特別少年院から出所する。彼女は、かつて少年院で一緒だった「騎兵隊」の総番・アララの鷹と再会し、タイムマン勝負することを熱望するが……。主題歌を歌うキャロルの登場により、今までの番長モノとは一味違う、ロックとスケバンが見事に融合した異色かつ奇跡の一作。

1/25(日)~28(水)「女囚さそり けもの部屋」



73年公開 87分 (東映)
監督:伊藤俊也 出演:梶芽衣子 成田三樹夫 李礼仙

刑務所を脱走中に刑事に追跡され、なんとか逃げ延びたが力尽きて倒れたナミ。売春婦に助けられるが、警察と「さそり」に怨みをもつヤクザ達の執拗な追跡に平穏な生活は続かなかった。今作では、前2作と異なり、さそりは都市(けもの部屋)に放たれる。そして、さそりは遂に都市伝説と化す。伊藤俊也監督のホラー趣味全開の過激演出が満載のこの作品は、このシリーズの中で最高傑作との呼び声も高い。

2/6(金)~9(月)「暴走パニック大激突」



76年公開 85分 (東映)
監督:深作欣二 出演:渡瀬恒彦 杉本美樹 室田日出男

銀行強盗がジャックしたバスを、それぞれに因縁のある連中が追跡するという往年のスラップスティック・コメディを思わせる一編。十台を超す乗用車の列に仲間の復讐に燃えたゾクのオートバイが加わり完全にパニック状態。そこにまったく並行していた風戸佑介のホモ殺人と、渡瀬と杉本の逃避行を織り交ぜる展開は、「パルプフィクション」の下敷きと思わせる。20分にわたってカークラッシュバトルが爆発するクライマックスは必見。

2/18(水)~22(日)「江戸川乱歩全集 恐怖奇形人間」



69年公開 70分 (東映)
監督:石井輝男 出演:吉田輝雄 由美てる子 土方巽

江戸川乱歩原作『パノラマ島奇談』と『孤島の鬼』さらに『人間椅子』、『屋根裏の散歩者』その他諸々をミックスして、石井監督の凄絶な演出をからめてしあがった作品。地上波では未放送で日本ではソフト化されていない。見世物のものついかわしき、後ろめたさ、その魅力と妖しさをこの映画は十分すぎるほど体現している、必見のカルト作。特に伝説となったラストシーンの人間花火は一度観たら一生記憶に焼きつけられる。

GINZA CINE PATHOS

銀座シネパトス

TEL. 03-3561-4660

<http://www.humax-cinema.co.jp/>

